指摘事項等	投稿日	令和元年１０月２４日
件名	リニア中央新幹線の駅の位置について	
本文	リニア中央新幹線の山梨の仮予定駅は何故、単独駅にするのですか。 既存の在来線（身延線）を有効活用した方がよいと思います。 新幹線の単独駅は、人口増加や活性化は100%考えにくい。何故なら新幹線を使う以外には使わないし、観光も乗り換えが出来ない駅には人は利用しにくいからです。 在来線とのセットで初めて市や町が活性化していくと思います。	

回　答	回答日	令和元年１０月３０日
担当部署	まちづくり部　リニア交通室　リニア政策課	
本文	本市では、令和元年１０月２１日の市長臨時記者会見におきまして、「（仮称）リニア山梨県駅」としてＪＲ東海が国の認可を受けている「大津町地内」と、平成２３年当時に比較検討の対象となった身延線「小井川駅付近」とを、それぞれの優位性について改めて検証した結果を公表いたしました。 この検証では、平成２３年に山梨県からＪＲ東海に対し、「大津町地内」をリニアの駅位置として要望した際の評価の概要を再確認し、更に、本市独自に「観光・アクセス性」「企業誘致」「移住」の３つの視点から評価を行いました。この３つの視点のうち、「移住」に関しては、同等の優位性とし、「観光・アクセス性」及び「企業誘致」に関しては、スマートインターチェンジが近いことや、産業支援施設や研究機関などが立地していることなどから、「大津町地内」の優位性が高く、総合的に「大津町地内が最適である。」としたところです。 なお、ＪＲ身延線の将来的な有効活用も視野に入れ、小井川駅への特急停車を前提条件とした移動時間の比較結果などや、記者会見の内容を本市ホームページに掲載しておりますので、ご参考としていただけますようお願いいたします。 今後におきましても、リニア開業による効果が本市のみならず県内全域に波及するよう、「リニアをいかしたまちづくり」に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。	